

在宅医療・介護連携推進事業の実施状況

市町名	主な取組項目	事業概要		事業実施にあたっての課題・方向性
		平成30年度	令和元年度(予定)	
高槻市	(ア、エ) 市域全体の取組み状況の把握	市内の各関係機関の取組把握調査を実施	市内の各関係機関の取組把握調査を実施	「市域全体の取組状況の把握」、「医療・介護専門職の連携支援」、「市民への普及啓発」の取組を進め、課題抽出及び対応策の検討を行う。
	(イ、ウ、オ、カ) 医療・介護専門職の連携支援	①訪問看護への他職種同行訪問研修の実施 ②地域の医療・介護関係者を対象とした研修会の実施 ③市医師会に在宅医療・介護連携支援コーディネーターを配置し、医療・介護関係者への相談支援や研修等を実施(島本町と共同委託)	①訪問看護への他職種同行訪問研修の実施 ②地域の医療・介護関係者を対象とした研修会の実施 ③市医師会に在宅医療・介護連携支援コーディネーターを配置し、医療・介護関係者への相談支援や研修等を実施(島本町と共同委託)	
	(キ) 市民への普及啓発	①在宅療養に係る市民啓発用リーフレットの作成 ②たかつき在宅療養安心ガイドブックの周知	①在宅療養に係る市民啓発用リーフレットの周知 ②たかつき在宅療養安心ガイドブックの周知 ③「ACP」をテーマとした市民啓発シンポジウムの開催	
	(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	大阪府三島在宅医療懇話会等で他市町の取組状況を共有	大阪府三島在宅医療懇話会等で他市町の取組状況を共有	
茨木市	(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	・「いばらきほっとナビ」地域資源・介護事業者情報の充実	・「いばらきほっとナビ」地域資源・介護事業者情報の充実	・継続した医療・介護の資源の収集、把握、更新、周知 ・医療と介護の連携における課題の抽出、課題を解決するための機会づくり(顔の見える関係) ・市民への啓発(在宅療養の理解、人生の最終段階を考える機会)
	(イ)(ウ) 課題の抽出と提供体制の構築	・ケアマネジャー対象に医療との連携における課題抽出のためのアンケート実施 ・けあプロnaviを利用した、在宅医療・介護連携推進事業の課題抽出 ・市内訪問看護ステーションを中心とした看護師のネットワーク化を支援	・入退院時連携の支援について検討	
	(エ) 情報共有の支援	・はつらつパスポート(みんなで連携編)の周知	・はつらつパスポート(みんなで連携編)の周知及び改訂	
	(オ) 相談支援	・「茨木市在宅医療・介護連携窓口」を設置し、医療・介護関係者への相談支援を実施	・在宅医療・介護連携窓口を強化	
	(カ) 医療と介護関係者の研修	・多職種連携研修会を実施	・圏域ごとの多職種連携研修会を実施(チームSTEPS) ・在宅療養を支える会の開催(三師会・訪看・市) ・茨木市地域看護ネットワーク倶楽部による勉強会への支援(テーマ:高齢者のフィジカルアセスメント)	
(キ) 市域住民へ普及啓発	・市民啓発用「在宅療養ガイドブック」の作成	・市民啓発用「在宅療養ガイドブック」の出前講座開始		
摂津市	(ア、ウ、オ) 相談窓口の設置	摂津市医師会に在宅医療・介護連携推進支援コーディネーターを配置。在宅医療・介護連携に関する相談支援の受付をし、あわせてコーディネーターが市内の居宅介護支援事業所・医療機関を訪問し相談窓口を周知し、医療・介護連携の現状についてヒアリングをした(オ)。また、切れ目のない医療と介護の連携に向け、コーディネーター主催の勉強会を開催した(ウ)。	・医療資源・介護資源の把握に向けて、システムを導入する。(ア) ・コーディネーターによる相談支援と勉強会を引き続き開催する。(ウ、オ)	【課題】 ・知識、意識、制度等におけるギャップの解消(職種間・職種内) ・近隣他市(三島医療圏外を含む)の医療機関を利用する市民も多い。近隣他市を含めた情報共有の方法の検討。
	(イ) 課題の抽出・検討	上記訪問でききとった課題を取りまとめた。	・企画会議で課題の解決に向けた検討を行う。(昨年度、会議では研修会の調整が中心となってしまい、課題の解決に向けた検討には至らなかったため)	
	(エ) 情報の共有支援	・連携シートについて、市内外の事業所に周知を図った。	・連携シートの活用を図る。 ・大阪府等が作成している情報共有のツールの利用を模索する。	【方向性】 ・研修会において改めて各職種の取組を共有し、知識面のギャップを埋める。 ・大阪府など広域的な機関の作成するツールの利用を模索する。
	(カ) 多職種間の連携研修会	多職種間の連携研修会 ・チームSTEPS研修会2 ・ACP研修会	多職種間の連携研修会 ・各職種の取組についての共有 ・認知症について	
	(キ) 市民啓発講座	市民啓発講座 ・認知症市民啓発講座	市民啓発講座 ・認知症市民啓発講座	
島本町	(ア、イ、エ) 町域全体の状況把握・管理	○「島本町在宅医療・介護支援ガイドブック」を平成31年3月に発行。作成にあたり、町内の医療機関・歯科・薬局、介護事業所、介護保険施設、有料老人ホームについて確認。 ○高槻市医師会主催の「地域包括ケアシステム推進会議」に参加。	○「島本町在宅医療・介護支援ガイドブック」を医療機関・歯科・薬局、介護事業所に配布。 ○高槻市医師会主催の「地域包括ケアシステム推進会議」に参加。	○在宅医療、介護連携の課題整理と対応策の検討を行う。 ○ACPについて、住民、医療介護関係者ともに理解が深められるようにしていく。
	(ウ、オ、カ) 医療・介護関係者の支援・研修	○高槻市医師会に在宅医療・介護連携支援コーディネーターを配置し、医療・介護関係者への相談支援等を実施(高槻市と共同委託)。 ○「自立支援に資する地域ケア会議 平成30年度研修会」を多職種連携研修会を兼ねて実施。 ※地域ケア会議を行って変化が見られた好事例をケアマネ及びサービス提供事業所から発表してもらい、それについてグループワークを行った。定期的ケア会議で助言者となっているセラピスト、管理栄養士、包括主任ケアマネジャー、包括保健師から、自立に向けた講演を行った。	○高槻市医師会に在宅医療・介護連携支援コーディネーターを配置し、医療・介護関係者への相談支援等を実施(高槻市と共同委託)。 ○「自立支援に資する地域ケア会議研修会」を実施予定。 ○町内病院と連携し、ACP(アドバンス・ケア・プランニング:人生会議)について、住民・医療介護関係者を対象とした講演会を11月30日(人生会議の日)に開催予定。講演会は2部構成にして、講演の後に、医療介護関係者向けの研修会を実施予定。	
	(キ) 地域住民への普及啓発		○「島本町在宅医療・介護支援ガイドブック」に、「上手に歳を重ねていくために」や「最期まで自分らしく人生を歩めますか」といった内容も盛り込んでおり、相談時や研修会等で活用する。 ○ACP(アドバンス・ケア・プランニング:人生会議)の講演会を人生会議の日で開催予定(再掲)。	

(参考)在宅医療・介護連携推進事業の8つの事業項目

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
(カ) 医療・介護関係者の研修
(キ) 地域住民への普及啓発
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携